

# 大阪府市場だより

第288号

(平成28年2月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会  
茨木市宮島1-1-1  
TEL (072) 636-3698  
FAX (072) 636-3699  
MAIL: 36983699@  
iaa.itkeeper.ne.jp



絵：「人参」磯野 由美（磯丸運送）

## 管理センター等の報告を協議

### 定例常駐代表者会議

定例常駐代表者会議が2月18日9時25分から、管理棟4階会議室で開催された。山口議長（府水産物卸協同組合理事長）の挨拶の後、協議が進められた。

議題1、管理センター（株）の宮前統括から3頁のとおり報告があった。

山口議長は、「不法投棄の防止に防犯カメラが威力を発揮している。清潔な市場づくりのためもう少し増やしていきたい。魚あらの処理費は12月から0になつており、集める場所だけを提供すればよいことになっている。青果くずが課題だ。コンビニ

ニは、継続していただけることになった。水産棟のコンビニサテライトは撤退になるが、3月から従業員休憩室として整備したい。パン屋さんの出店も検討

していただいている。買荷保管積込所の不法占有について、府と管理センターで今まで踏み込めていないところまで取り組んでいただいている。」と述べられた。

議題2、府の菅野次長から、次のとおり報告があった。①管理棟・水産棟耐震改修工事が1月29日に完成した②非常用放送設備本体の改修工事を行ったが配線の老朽化により放送が流れにくくなっていることが分かつたので、来年度中に修理する③施設・設備の巡回中に水産棟・青果棟の3階渡り廊下の梁ジョイントプレート部分にひびが発見されたので、溶接の応急工事を行い、今後とりかえることなど。また、トップセールスにつ

いて、各社・団体の意見を伺った結果、当面実施を見合わせる

ことが報告された。山口議長は、直接集荷の検査についても引き続きしっかりと取り組んでもらいたいと述べられた。

議題3、事務局から市場開放デーを開催する場合の日程案として11月13日（第2日曜日）が示され、了承された。次に、各部会の活動状況などが報告された。①福利厚生部会②3月10日（木）ボウリング大会を開催する

るので、参加者を募集中②計量部会③2月に食品流通センターの計量検査を実施済み。3月は青仲組合を予定③安全部会④2月9日安全運転講習会を開催し、35人が参加⑤第4回一斉大掃除を3月23日に予定④総務部会⑤人権問題研修会を2月26日に開催予定⑤食品衛生部会⑥食品衛生検査業務検討会（食品衛生検査所主催）が2月25日～3月15日の間に開催される。

議題4、①巽北冷社長が、「水

販売に担当者を置いていたが採算が合わず、4月から無人にしたいので、ご理解とご協力をお願いしたい」と述べられ、了承された。②田中食流センター常務が、6千人を超える来場者があつた12月の感謝セールにおける駐車場の協力に対してお礼を述べられた。



## 指定管理者事業全項目で優良・良好と評価 指定管理者評価委員会

府市場における指定管理者の業務実施状況等を評価する大阪府中央卸売市場指定管理者評価委員会(委員長・津田盛之、未来産業経済研究所代表のほか、公認会計士、弁護士、大商人材開発部長の4名で構成)は、1月22日に大阪市内で、平成27年度の委員会を開催し、府の評価等に対して調査・審議を行い、委員会の評価を行った。

評価対象は、「提案の履行状況に関する」6項目、「さらなるサービスの向上に関する」2項目、「適正な管理業務の遂行を

図ることのできる能力及び財政基盤に関する」3項目に対して、S(優良)・A(良好)・B(ほぼ良好)・C(要改善)の4段階の評価を行うもの。



山地府市場長の挨拶

今回、評価委員会では、全11項目のうち、5項目が「府ができたかった事業が実施できている」とのS(優良)評価、残り6項目

すべてが「制度導入前と比較して上回っている」とのA(良好)評価であった。昨年までの2項目に加えて、新たにS評価とされた3項目は、①「平等な利用を図るための具体的な手法・効果」として、「セリ場の販売行為や買出入用駐車場の荷物の保管・荷捌きについて仲卸組合と協働して強く指導している」ことや、「利用料金の滞納を発生させていない」こと、②「施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度」では、「収入の確保、コストの削減により捻出した財源を活用して、当初予算枠の1.3倍の修繕事業を実施したほか、府から依頼された低圧幹線工事など5件を、事業費としては昨年度比

3.7倍となる約2億4千万円(納付金控除)の工事を実施したこと、③「府施策との整合」では、環境問題への取り組みとして燃料電池導入への協力や照明器具のLED化、プラスチック製パレットの再利用や魚あらの処理費用(年間1500万円)を地道な交渉により昨年12月から無料化したことなどが高く評価された。

評価委員会の評価状況(全11項目)

評価	24年度	25年度	26年度	27年度
S(優良)	1	2	2	5
A(良好)	9	9	9	6
B(ほぼ良好)	1	0	0	0
C(要改善)	0	0	0	0

委員から指摘・提言のあった「市場設備のゴールドチェーン化の強化」について、府と指定管理者、場内関係者で作っている競争力強化研究会で検討し、旧鉄道貨物プラットホームに大屋根を整備したことや仲卸の低温流通加工施設の整備などが報告された。

委員からは、食品廃棄物問題が話題になっていることもあり、ハードのゴールドチェーン化だけでなく、ソフトとしてのトレーサビリティ面の情報化などが指摘され、府から情報の在り方を検討するとの回答があった。

今後、委員の意見を踏まえ、府で対応方針を策定し、指定管理者が28年度事業計画に反映する。

## スーパーのシェアが増加

### 流通状況調査結果を発表

府中央卸売市場では、昨年10月3日を調査対象日とした市場取扱品流通状況調査結果を発表した。

この調査は、同市場を経由して供給される生鮮食品等の流通の実態を地域別、業態別に把握するもので、調査日の取扱件数は48377件で、1273トンであった。

◇数量ベースの地域別搬出状況：供給圏(三島・豊能・北河内・大阪市の一部・東大阪市)42.7%(前年比+3.1ポイント)、供給圏以外の大阪府13.5%(▲0.8ポイント)、他府県43.8%(▲

2.2ポイント)。他府県は、京都府14.7%(+1.3ポイント)、兵庫県12.5%(▲5.9ポイント)、滋賀県5.3%(+3.3ポイント)、奈良県2.1%(▲1.2ポイント)となり、前年度まで最も高かった兵庫県と京都府が入り替わっている。

◇種類別の地域別搬出状況を見ると、供給圏内は、野菜が49.9%、果実が43.7%と半分近くを占め、生鮮水産物は32.1%、加工水産物は27.0%となり、水産物の供給圏外への搬出割合が高かった。

は、スーパーが65.0%(+6.4ポイント)で一番多く、次いで一般小売業者19.1%(▲1.3ポイント)、その他(地方卸売市場等)9.3%(▲2.5ポイント)、飲食業者3.0%(▲2.0ポイント)、給食業者2.0%(▲0.6ポイント)、加工業者1.5%であった。

◇取扱品目を主要な搬出先であるスーパーと一般小売業者と比較してみると、野菜ではスーパーが62.0%(+0.3ポイント)、一般小売業者が19.7%(+1.5ポイント)、果実では、73.3%(+5.8ポイント)と14.6%(+1.6ポイント)、生鮮水産物では、66.3%(+10.4ポイント)と20.9%(▲0.9ポイント)、加工水産物では、58.8%(+12.6ポイント)と21.8%(▲10.5ポイント)となっており、スーパーのシェアが

すべての種類で過半数を超え、また前年度より増加している。

◇配達状況：「買出人の自動車まで」が63.6%と最も多く、次いで「買出人の店舗等まで」が31.8%、「持帰り」が4.3%となっている。品目別では、青果、水産物ともに「自動車まで」が最も高いが、青果(野菜58.6%、果実50.7%)に比べて、水産物(生鮮70.2%、加工68.4%)のほうが高くなっている。

◇加工状況：件数から見ると、「加工なし」が85.5%と高くなっている。「加工あり」の割合は、「加工水産物」(26.9%)が最も高く、次いで「野菜」(21.4%)、「果実」(8.9%)、「生鮮水産物」(7.7%)の順になっている。

業態別搬出数量状況

(単位:%)

	スーパー	一般小売業者	小計	飲食業者	給食業者	加工業者	その他
野菜	62.0	19.7	81.7	2.4	3.4	2.0	10.6
果実	73.3	14.6	87.9	0.9	1.7	0.1	9.4
生鮮水産物	66.3	20.9	87.2	6.5	0.2	1.7	4.3
加工水産物	58.8	21.8	80.6	1.1	0.3	0.6	17.5
合計	65.0	19.1	84.1	3.0	2.0	1.5	9.3

### 安全運転講習会を開催

市場協会安全部会（部会長・東野達雄青果卸売協同組合理事長）では、2月9日、管理棟会議室で、茨木警察署交通課の橋本係長を講師にお願いして安全運転講習会を開催し、35名が受講した。

橋本講師から①府域では今年に入ってから21名の方が交通事故でなくなっており、うち8件が貨物トラックの関係するものであった②交通事故による全国の死亡者が一昨年までの14年間は前年比減少だったが、昨年（4117人）は前年より増加（前年比+4%）した。その主な要因は大阪府域の死亡者（196人）が愛知県に次いで全

国で2番目に多く、前年より53人も多かったことにあること③大阪が全国ワースト1として、自転車の信号無視による死亡事故件数と、飲酒運転による死亡事故件数があげられることが指摘されていた。



また、運転において特に注意を払うポイントとして、自転車と高齢者の方に注意して運転していただきたいとの説明があった。そのほか、事故責任についてのDVDを視聴し、受講者は安全運転に思いを新たにしていた。

### 管理センターからの報告(要旨)

宮前統括から次の項目について報告があった。

- 活性化事業
  - ハード事業○卸棟3・4階トイレ改修(24か所)↓すべて完成○青果Bブロック低圧幹線改修工事(府立替)【工期】10/1〜3/下旬
  - 【事業費】約710万円○近郷売場トイレ改修【新規】【工期】1/23〜3/31【事業費】約700万円
  - ソフト事業○せりちゃん動員での販促活動○大阪モノレール35周年イベントに参加12/19○茨木市防災訓練との連携・PR1/17↓自衛隊による炊出の食材提供○イオン市場直送セイル(水産物)四條畷店1/16・2/6・2/27↓味の素と連携、2/27からはミツカとも連携

### 衛検だより

## アレルギー？食中毒？化学物質ヒスタミンの謎

### 食品衛生検査所

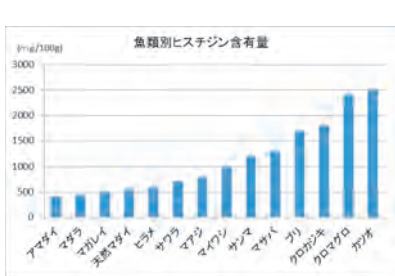
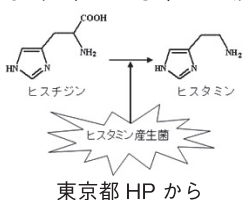
今月初め、保育園の園児、保育士計67名が、顔面紅潮、発疹、舌先のピリピリとした刺激などの症状を示し、給食のイワシのつみれ汁によるヒスタミン食中毒と断定されました。

ヒスタミンは魚肉にあるヒスタジンと言うアミノ酸を細菌が分解してできる化学物質です。

ヒスタジンは、カツオ、マグロなどの赤身魚に多く含まれています。本来ヒスタミンは、体の中で適量作られ神経伝達物質として作用していますが、食品100g中に100mg以上のヒスタミンが含まれていると発症するとされています。

主な症状は顔面紅潮、発疹、発熱、頭痛、嘔吐などで、食後数分から1時間ほどで発症します。通常は数時間で回復しますが、症状が重い場合は医療機関を受診しましょう。

魚にはヒスタミン産生菌がすぐについている場合があります。0℃〜10℃の低温で発育する菌もあるため、冷蔵保存しているヒスタミンでもヒスタミン



日本食品標準成分表 2015年版(七訂) アミノ酸成分表編をもとに作図

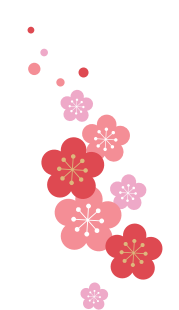
うことがあります。生の赤身魚は常温で放置しないこと。冷蔵でも長期間保存しないことが予防のポイントです。干物などの加工品も同様です。冷凍品は冷蔵庫で解凍しましょう。

一旦できたヒスタミンは加熱しても分解されません。ヒスタミンを多く含む食品は、食べた時に口の中や舌がピリピリします。その場合は食べずに処分しましょう。

このヒスタミン食中毒とよく似た症状を起こすものとして食物アレルギーがありますが、アレルギーは原因となるタンパク質を摂取した際に起こる体の免疫反応です。ですから、症状が起こるのはそのタンパク質にアレルギーを持つ人だけです。これに対して化学物質であるヒス

○もずやんともずやんの友達がやってくるイベント2/20、万博公園。もずやんの歌表彰式(松井知事・山口管理C社長対談)○健康づくりアワード表彰式2/23、アベノハルカス。

産立駐下への不法投棄が集中しているので、防犯カメラの設置を検討したい。



■修繕事業○251件、約1億1千万円(当初提案額5千万円)○青果・水産棟2階外周パラペット塗装修繕工事【工期】1/23〜3/25【事業費】約230万円○水産仲卸棟外側H鋼梁型塗装修繕工事【新規】【工期】2/下旬〜3/下旬【事業費】約300万円

■不法投棄の防止徹底○防犯カメラ設置により効果発揮(1月20件、対前年比1/3)○投棄者の特定↓即警察への通報、告発。最近、水

タミンは、過剰摂取すれば体質に関係なくだれでも発症します。世界の年平均気温がこれまでの最高値を更新した昨年、本市場でもヒスタミンによる苦情が多発しました。気温が上昇するこれからの季節、特に赤身魚の取り扱いには注意が必要です。

■改修事業○水産せり場舗装改修工事(府立替)↓手直し部分を残し完成済み

■コンピニの継続決定。リニューアル工事(2月下旬〜3月中旬)実施。水産棟2階のサテライトは撤退(2月末)↓サテライトは従業員休憩室として整備(空調工事、パン屋出店、自販機設置)

■その他○指定管理者評価委員会1/22開催。高い評価を受けた。

■廃棄物排出量の抑制○前年比減少傾向○魚あらの処理費ゼロ○青果くずの新たな受入先探し↓難航している。

○消防訓練3/22。10:00〜多くの方の参加を。○鍼灸院開院1/18。管理棟5階、保険適用。

■「そ族(クマネズミ)対策」○青果物の喫食被害が深刻↓専門家による現場調査(被害箇所、侵入経路)↓対策の実施を検討中。殺鼠剤は使用しない。清掃、トラップ設置、ハード整備等。【事業費】青果・水産あわせて2千万円/年↓当初よりコストがかさむのでその他の有効な手段を検討中。

■西1号門進入車両案内看板の設置

■青果買出人専用駐車場の利用秩序の維持・確保↓青果組合において確認、実行中

### 柳川市長らトップセールス

福岡県柳川市の金子健次市長、JA柳川の成清法作組合長一行が、2月9日、「あまおう」やナスなどのトップセールスに府市場を訪れた。大果大阪青果(株)支部支社の果実売り場には、「水郷ではぐくまれた自然の恵みを食卓へ」という幟や横断幕が掲げられた。8時からトマト、アスパラガス、ニラ、レタスなどを展示し、あまおうや「ナスいっぱいトマトスープ」などの試食品が提供された。8時30分からセレモニーが行われ、金子・柳川市長が「ドジョウが育つ環境の中で育った農産物は、新鮮で、安心安全。府市場でもぜひご提供いただきたい」と



金子柳川市長の挨拶

10年前に比較して2倍の120トンを出荷している。青果大屋根の設置、電力の拡大など、ゴールドチーンとしてしっかりと受け入れ体制をして、鮮度を保ったまま消費者にお届けしていきたい。これからも各産地の皆さんから当市場を選んでいただけるよう場内事業者の皆さんとともに、活性化に取り組みたい。引き続き柳川さんとの

述べられ、次に成清・JA柳川組合長と久富・同園芸部会長が、「消費者から喜ばれる安全安心な品物を提供できるよ頑張りたい。お引き立てを」と商品の良さをPR。これを受けて市場側からは、先ず、山地・府市場長が挨拶され、「昨年は



試食会

関係強化してウインウインの関係をきづいていきたい」と挨拶。引き続き、永富完次府青果卸売協同組合副理事長と前田進大果大阪青果(株)支部支社長から歓迎の挨拶があった。9時からセリが開始され、活発な声が飛んでいた。

### 春夏用加工食品展示会が賑わう

水産卸の(株)うおいちと(株)大水の西北部支社は、2月13日に水産棟の各社の会議室において、春夏用の練製品加工食品などの商材展示会を開催した。展示会には、併せて約300社のメーカーが例年より多い練製品、和惣菜、中華惣菜や塩干品などを展示。地域名産品として九州や北陸をはじめ、諸国味めぐりなど様々なアイデアを盛り込んだ展示を行っていた。仲卸や量販店の担当者などが多く来場し、現物を手にしながら、商談を行う人たちが賑わった。

### ボウリング大会

3月10日(木)に決定

府市場協会福利厚生部会(三木博司部会長)では、1月22日に、ボウリング大会実行委員会を開催し、大会の開催実施要領を次の通り決定した。お誘いあわせのうえ、奮っての参加を呼び掛けており、各社・団体を通じて申し込みをお願している。

○開催日時：3月10日(木曜日)、午後2時又は4時からのいずれかの時間。○ゲーム代(3ゲーム・貸靴・駐車料を含む)・無料○選手登録：3月4日午後3時までに協会へ提出○試合方法：1団体1チーム。ただし組合は2



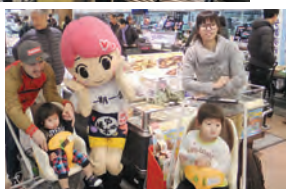
チーム。○団体戦のチーム編成：5名以上15名以内○試合方法：3ゲームの総得点により順位を決定。団体戦はチームごとの上位5名の総得点により決定。ハンデいは前回優勝者1ゲームにつきマイナス10ピン、女子はプラス15ピン、年齢50歳以上はプラス5ピン、60歳以上はプラス10ピン、70歳以上はプラス15ピン。団体戦は前回優勝者のマイナス10ピンは入れない。



### 府市場まつり

#### イオン四條畷店

府市場直送セール(水産物)が、2月6日に開催された。多くの来客の皆さんを歓迎するセリちゃんも大忙しで活躍。



### 鍼灸院 新規開院!

1月18日から、管理棟5階に、中央市場鍼灸院が開院した。「健康保険が適用できる鍼灸院」で、「体本来の自然治癒力を引き出す施術」をアピールされている。  
※水・日曜休診

受付時間	月・火・木・金曜	土曜
午前	8:00~12:00	8:00~12:00
午後	13:00~16:00	休診

### 図書案内を作成・配布

図書室の約2200冊を紹介。ご利用時間：平日8時30分から16時30分、土曜日8時30分から13時。ご利用をお待ちしております。

卸売業取扱高(平成28年1月) 大阪府中央卸売市場

卸売業種名	種類	数量(トン)		金額(千円)	
		数量	前年比%	金額	前年比%
青果	野菜	10,713	101.5	2,107,650	93.2
	果実	4,050	91.8	1,493,116	100.4
	小計	14,762	98.6	3,600,766	96.1
水産物	生鮮水産物	1,574	83.4	1,680,328	95.6
	冷凍水産物	365	100.5	328,569	92.5
	加工水産物	885	84.8	847,816	94.8
	冷凍食品	341	95.5	162,484	95.7
	小計	3,164	86.7	3,019,198	95.0
卸売業者計		17,926	96.3	6,619,964	95.6

開場日数 平成28年・27年1月 20日

### 新着図書案内

- ※「九転十起」 広岡浅子の生涯 古川 智映子 著 潮出版社
- ※老人と海へミングウェイ 著 光文社文庫
- ※太陽の塔 森見 登美彦 著 新潮文庫
- ※蛭子能収のゆるゆるの人生相談 蛭子 能収 著 光文社
- ※当確師 真山 仁 著 中央公論新社
- ※螢川・泥の河 宮本 輝 著 新潮文庫
- ※つまを めとらば 青山 文平 著 文芸春秋
- ※死んでいない者 滝口 悠生 著 文芸春秋